



これを基に、おうちで相談しながらKey noteなどに打ち直していくと、さらにいい原稿になります。「どこが好きなの？」など質問しながら、その思いが聞き手にうまく伝わるようにしてあげると、とてもいいです。

これぐらい書き込んでいても、実際に発表してみると、1分半くらいで終わってしまいます。

持ち時間は3分なので、聞き手に問いかけたり、挿絵を見せたりするなど上手に工夫をして、時間いっぱい使えるとすばらしい発表になります。

大人は色々なものを買う立場にいるので、常に何かの紹介や宣伝を受けている状態です。

様々な紹介の工夫を教えてあげると、それは子どもにとってとてもよい勉強になるので、ぜひアドバイスを与えてあげてください。

(子どもたちに教えた型通りでなくても、もちろん大丈夫です！)

発表原稿をしっかり作り、たくさん練習して、堂々と発表するという経験は、その後もずっと役立っていきます。

より少ない時間で原稿作りや練習で発表できるようになったり、練習無しでも堂々と発表できるようになったりします。

2年生後半の目標は、活動の中心を習得から活用・探究へ移すこと、アウトプット型の学習活動を行うことなので、今回のビブリオバトルは絶好の機会です。

ぜひご家庭でもご協力をお願いいたします。

※参考：昨年の1～5年生のビブリオバトル優勝者の動画

 SOLANビブリオバトル2023 チャンプ動画